東土木20(8[5]

Cか~の定義に使われた条件

 $((x_1, x_2), t) = ((x(, x_2), t')$

 $\xi(A)$, $\{t, t' \} = \{-1, +1 \} \} > (21, 22)$ = $(-x_1, -x_2) \xi(B) \xi(C)$

・反射律については、国身とは目が満たされるから成り立つ。

·対称律については、 图 や 图 が 成り立つ か否かが、 (Cx1, x2), t) と (Cx1, x2), せ)

と入れ替えても変わらないのであり立つ。

· 推移律について、 a, b, c e A×I を任意

or $\pi Z \cup Z$. $\alpha = ((x_a, y_a), t_a)$ $b = ((x_b, y_b), t_b)$

c=((xc, yc), tc)

とおく、 へんし しゃくのいずれかしまたは

两方) ご面的满たこれるとき、 それぞれ α=b,

りことが対りかつのでなって古る

a~b,b~c ご条件®がどちらも成り 生っているときは Xa=-Xb=Xc, ya=-yo=yc, ta=-tb=tcが真く ため、Q=Cとなり条件のが満たされる。 5>て a~cとはる. 」ととから、~はAxIの同値関係である。 (2) AXIは次のようになる: これは、 () 2 SIVSI (1点年10) と たもしし一同時である、よって Hn(A×I)= } 72 (n=1) (n=0)
(O Cotherwise) である.

(3) Xは、次のようになる. $X = A \times I / \lambda$ ただし、矢印の向きで同一視する。 これをプスのように用込体分割する. e_{1}^{2} e_{1}^{2} e_{2}^{1} e_{1}^{2} e_{2}^{1} e_{2}^{2} e_{1}^{2} e_{2}^{2} e_{1}^{2} e_{2}^{2} e_{1}^{2} e_{2}^{2} e_{2}^{2} e_{3}^{2} e_{3}^{2} e_{3}^{2} e_{3}^{2} e_{4}^{2} e_{5}^{2} e_{5}^{2} る2: 22-> 23については、 eiなeiを1周, eiを+1周 e2 は e1 を一り到, e1を十1周する, 577 22 1\$ (N1, N2) 17 (N1-N2,-N1+N2,0) ZEN Ker 22 = Zi, Im 22 = Zi. る1·Z3→Zはの子像である。よって Ker 21 = 23, Im 21 = 0.

大下 brs H2(X) = Kend2 = Z Ho(x) = kerdo/Imd2 = Z2
Ho(x) = kerdo/Imd1 = Z $572 \text{ fln}(X) = \int Z \text{ (n=0,2)}$ $Z^2 \text{ (n=1)}$ O (otherwise)